別記様式第6号（第11条関係）

実務実績書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　No.

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　　　月　　　日　　　　　氏名 | | | | | | | |
| 番号 | 企画・プロジェクト等名 | 企画・プロジェクト等の主体 | 自身の役割 | 企画・プロジェクト等の実施場所 | 実施期間 | 報告書等名  (発行年月，頁数) | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 概　要　・　成　果 | |  | | | |
|  | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 概　要　・　成　果 | |  | | | |
|  | | | | | |

記載上の留意事項

１．日付については原則として和暦で記載すること。

２．実務実績とは，次のものをいう。

（１）　国際地域学科地域協働専攻（函館校）

採用時の選考又は昇任候補者の対象分野に係る国際的又は地域的な優れた企画等の立案・実施に関する報告書等の実績をいう。

（２）　芸術・スポーツ文化学科（岩見沢校）

国際的若しくは全国的なレベルの優れた業績と認められる企画，プロジェクト等の実績をいう。

３．これまでに自身が関わった企画・プロジェクト等の実績について記載すること。

４．「企画・プロジェクト等の主体」欄には，企画・プロジェクト等（以下「プロジェクト等」とする。）を実施した主体である組織や地方公共団体等の名称を記載すること。

５．「自身の役割」欄には，当該プロジェクト等に対して自身が果たした役割を簡潔に記載すること。なお，役割について特記事項がある場合には，「概要・成果」欄に補足すること。また，役割を示す関連資料等がある場合には添付すること。（ただし，報告書等に示されている場合は省略してよい。）

６．「報告書等名」欄には，当該プロジェクト等において作成した報告書等の名称，発行年月，総頁数を記載すること。なお，自身の担当部分について抽出できる場合には，担当部分の開始頁及び終了頁を併せて記載し，抽出できない場合には「本人担当部分抽出不可」と記載すること。

（実務実績が２（２）に該当する場合は，記載を要しない。）

７．１つのプロジェクト等において，複数の報告書等が発行されている場合は，報告書等毎に「企画・プロジェクト等名」欄を分けて記載すること。

８．「概要・成果」欄には，当該プロジェクト等が応募するキャンパスにおける上記２の実務実績に合致することを念頭に，２００字以内で記載すること。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　No.

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 企画・プロジェクト等名 | 企画・プロジェクト等の主体 | 自身の役割 | 企画・プロジェクト等の実施場所 | 実施期間 | 報告書等名  (発行年月，頁数) | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 概　要　・　成　果 | |  | | | |
|  | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 概　要　・　成　果 | |  | | | |
|  | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 概　要　・　成　果 | |  | | | |
|  | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 概　要　・　成　果 | |  | | | |
|  | | | | | |